

寄稿

データからみる 地方私立大学の入学定員充足状況

— 定員管理の厳格化は地方大学にどう影響を及ぼしたのか



日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター
私学情報室長
新倉健二



私学情報室副主幹
高橋一男

私立大学の入学定員充足状況については、私学助成における定員管理の適正化に伴う入学定員充足率の厳格化(以下、「定員管理の厳格化」という)が開始された2016年度以降に大きな変化が生じている。今回は、当事業団が、1999年以来22年にわたり刊行している「私立大学・短期大学等入学志願動向」のデータを様々な角度から集計・分析し、定員管理の厳格化開始以前の2015年度から2020年度までの地方私立大学の入学定員充足状況等について報告したい。

規模別の動向

**充足率100%以上 規模800人以上→
200人以上3,000人未満に変化**

全国の私立大学の規模別の充足状況について、大学1校当たりの入学定員ごとに11に区分した。入学定員充足率の過去6カ年の推移をみると、2016年度までは、800人以上の4区分で入学定員充足率が100%以上となり、定員規模が大きいほど充足率が高くなる傾向にあった。

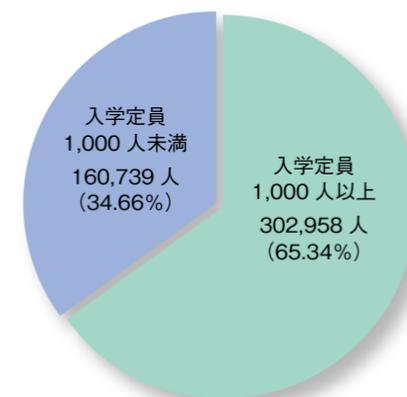
図表1 入学定員充足状況 (学校規模別：過去6カ年)

入学定員	2015 (A)		2016		2017		2018		2019 (B)		2020 (C)		(B)-(A) [2019-2015]	(C)-(A) [2020-2015]
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%				
100人未満	94.91	98.09	94.44	92.60	94.97	97.37	0.06	2.46						
100人以上 200人未満	88.50	87.83	93.73	95.81	98.37	99.41	9.87	10.91						
200人以上 300人未満	94.00	92.41	95.93	99.36	103.02	103.49	9.02	9.49						
300人以上 400人未満	95.37	93.38	96.55	98.24	103.69	104.36	8.32	8.99						
400人以上 500人未満	97.96	94.26	99.39	100.81	102.34	105.06	4.38	7.10						
500人以上 600人未満	96.57	95.23	100.87	103.68	108.83	105.89	12.26	9.32						
600人以上 800人未満	94.16	98.52	103.40	103.64	108.74	108.16	14.58	14.00						
800人以上 1,000人未満	103.38	103.38	107.19	109.42	109.27	108.20	5.89	4.82						
1,000人以上 1,500人未満	108.90	105.51	105.65	104.31	104.43	104.42	▲4.47	▲4.48						
1,500人以上 3,000人未満	110.63	110.86	108.50	104.96	102.58	102.26	▲8.05	▲8.37						
3,000人以上	109.36	109.19	106.04	100.58	98.84	99.07	▲10.52	▲10.29						
平均	105.04	104.43	104.61	102.64	102.67	102.61	▲2.37	▲2.43						

※ 入学定員充足率 = 各区分ごとの入学者合計 ÷ 各区分ごとの入学定員合計 入学定員充足率 100%以上

図表2 入学定員規模別入学定員の割合 (2015年度)

(入学定員合計 463,697人)



たが、2017年度以降は、年度が進むごとに充足率100%以上の範囲が小規模の区分に広がり、2019年度以降は、200人以上3,000人未満の8つの区分で100%以上となっている。一方、定員規模の大きい「3,000人以上」では、2015年度以降、100%以上であったものが2019年度に100%未満に転じている。また、2019年・2020年と2015年の差をそれぞれみると、いずれも最小である入学定員「100人未満」から「800人以上1,000人未満」の8つの区分で増加し、反対に1,000人以上の3つの区分では4~11ポイント減少している(図表1)。

定員管理の厳格化では、収容定員が4,000人以上の私

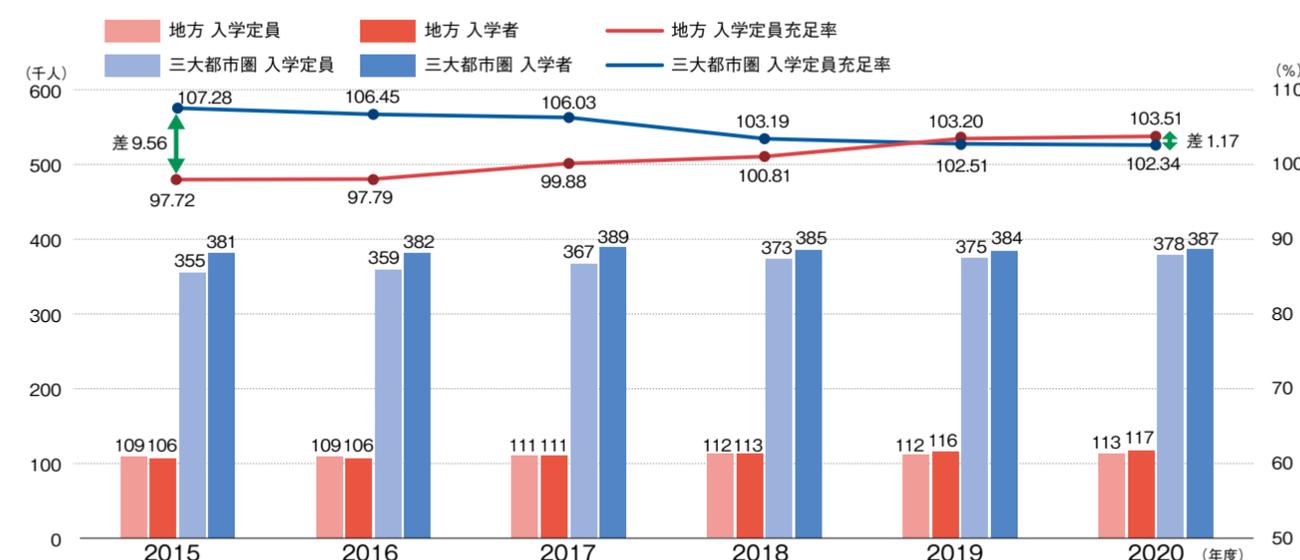
立大学が対象になり、大学が主に4年制であることを踏まえると入学定員1,000人以上の大学が対象となる。この入学定員1,000人以上の各大学の入学定員を合計すると約30万人となり、私立大学全体の65%を占めている(図表2)ことから、入学定員1,000人以上の大学が入学者数を抑えることによる、1,000人未満の大学の入学定員充足状況に与える影響は大きく、入学定員1,000人を境に異なる傾向になったと考えられる。

地域別の動向 1

**地方私立大学の充足率が
三大都市圏私立大学の充足率を上回る**

私立大学の地域別の充足状況を学校の所在地により、三大都市圏(東京、埼玉、千葉、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫)と地方(三大都市圏以外)の2つに分けて分析したものが図表3である。入学定員充足率の過去6カ年の推移をみると、2015年度において地方と三大都市圏との充足率には9.56ポイントの差があり、また地方の充足率は97.72%と100%未満であったが、定員管理の厳格化が開始された2016年度以降、上昇し2018年度に100%以上となり、2019年度では三大都市圏の充足率を0.69ポイント上回る103.20%まで上昇している。2020年度においても上昇して103.51%となり、三大都市圏との差は1.17

図表3 入学定員充足状況 (地方・三大都市圏別：過去6カ年) [学校所在地ごとに集計]



※ 入学定員充足率 = 各区分ごとの入学者合計 ÷ 各区分ごとの入学定員合計

図表4 地域圏、入学定員規模別入学定員・入学者(2015年度・2020年度)〔学校所在地ごとに集計〕

区分	入学定員			入学者			
	2015年度 (A) 人	2020年度 (B) 人	増減率 (B-A)/A %	2015年度 (C) 人	2020年度 (D) 人	増減率 (D-C)/C %	
三大都市圏	355,018	378,199	6.5	380,866	387,060	1.6	
(内訳)	入学定員 1,000人以上	264,998	288,365	8.8	292,153	291,392	▲0.3
	入学定員 1,000人未満	90,020	89,834	▲0.2	88,713	95,668	7.8
地方	108,679	112,813	3.8	106,198	116,770	10.0	
(内訳)	入学定員 1,000人以上	37,960	41,574	9.5	40,063	42,795	6.8
	入学定員 1,000人未満	70,719	71,239	0.7	66,135	73,975	11.9
合計(全国)	463,697	491,012	5.9	487,064	503,830	3.4	

図表5 入学定員充足状況(地域別:2015年度・2020年度)〔学校所在地ごとに集計〕

地域区分	入学定員				入学者				入学定員充足率			入学定員充足率100%以上の地域数			
	2015年度 (A) 人	2020年度 (B) 人	増減 (B-A) 人	増減率 (B-A)/A %	2015年度 (C) 人	2020年度 (D) 人	増減 (D-C) 人	増減率 (D-C)/C %	2015年度 (E) %	2020年度 (F) %	増減 (F-E) ポイント	2015年度 (G) 地域	2020年度 (H) 地域	増減 (H-G) 地域	
地方	北海道	10,985	10,838	▲147	▲1.34	10,622	11,494	872	8.21	96.70	106.05	9.35	5	10	+5
	東北	4,842	4,997	155	3.20	4,114	4,782	668	16.24	84.96	95.70	10.74			
	宮城	8,073	8,399	326	4.04	8,214	8,778	564	6.87	101.75	104.51	2.76			
	関東	10,343	11,429	1,086	10.50	10,490	12,482	1,992	18.99	101.42	109.21	7.79			
	甲信越	5,275	5,568	293	5.55	5,326	5,742	416	7.81	100.97	103.13	2.16			
	北陸	4,731	5,400	669	14.14	4,836	5,774	938	19.40	102.22	106.93	4.71			
	東海	8,398	8,750	352	4.19	8,073	9,248	1,175	14.55	96.13	105.69	9.56			
	近畿	4,098	4,423	325	7.93	4,003	4,675	672	16.79	97.68	105.70	8.02			
	中国	8,131	8,887	756	9.30	8,060	8,643	583	7.23	99.13	97.25	▲1.88			
	広島	9,084	8,948	▲136	▲1.50	8,568	8,974	406	4.74	94.32	100.29	5.97			
	四国	4,060	4,355	295	7.27	3,598	3,979	381	10.59	88.62	91.37	2.75			
	九州	12,215	11,905	▲310	▲2.54	11,630	12,132	502	4.32	95.21	101.91	6.70			
	福岡	18,444	18,914	470	2.55	18,664	20,067	1,403	7.52	101.19	106.10	4.91			
計	108,679	112,813	4,134	3.80	106,198	116,770	10,572	9.95	97.72	103.51	5.79				
三大都市圏	埼玉	16,738	17,107	369	2.20	17,508	18,412	904	5.16	104.60	107.63	3.03	6	7	+1
	千葉	14,631	14,736	105	0.72	14,377	15,582	1,205	8.38	98.26	105.74	7.48			
	東京	168,390	181,781	13,391	7.95	185,187	183,897	▲1,290	▲0.70	109.98	101.16	▲8.82			
	神奈川	22,880	22,492	▲388	▲1.70	23,999	23,194	▲805	▲3.35	104.89	103.12	▲1.77			
	愛知	34,194	35,796	1,602	4.69	36,305	37,087	782	2.15	106.17	103.61	▲2.56			
	京都	32,991	36,281	3,290	9.97	35,083	35,866	783	2.23	106.34	98.86	▲7.48			
	大阪	42,721	46,683	3,962	9.27	46,002	49,298	3,296	7.16	107.68	105.60	▲2.08			
兵庫	22,473	23,323	850	3.78	22,405	23,724	1,319	5.89	99.70	101.72	2.02				
計	355,018	378,199	23,181	6.53	380,866	387,060	6,194	1.63	107.28	102.34	▲4.94				
全国計	463,697	491,012	27,315	5.89	487,064	503,830	16,766	3.44	105.04	102.61	▲2.43	11	17	+6	

※ 入学定員充足率 = 各区分ごとの入学者合計 ÷ 各区分ごとの入学定員合計

地域区分		神奈川		大阪	
北海道	北海道	神奈川	神奈川	大阪	大阪
東北	青森・岩手・秋田・山形・福島	甲信越	新潟・山梨・長野	兵庫	兵庫
宮城	宮城	北陸	富山・石川・福井	中国	鳥取・島根・岡山・山口
関東	茨城・栃木・群馬	東海	岐阜・静岡・三重	広島	広島
埼玉	埼玉	愛知	愛知	四国	徳島・香川・愛媛・高知
千葉	千葉	近畿	滋賀・奈良・和歌山	九州	佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
東京	東京	京都	京都	福岡	福岡

ポイントまで広がっている。

三大都市圏の充足率が下降した要因として、定員管理の厳格化の影響が考えられる。三大都市圏では2020年度の入学定員をみると2015年度に比べ6.5%増加しているのに対し、入学者数は、定員管理の厳格化の対象となった入学定員1,000人以上の大学が入学者数を抑え、全体で1.6%の増加に留まったことが、充足率の下降につながったと考えられる。一方、定員管理の厳格化の影響が少ない地方では、2020年度の入学定員は、2015年度に比べ3.8%増加しているのに対し、入学者数は全体で10.0%増加しており、充足率の上昇につながったと考えられる(図表4)。

地域別の動向2

12の地方地域で充足率が上昇 充足率100%以上の地方地域は5→10

図表5は、私立大学の地域別の充足状況を、学校の所在地により、21の区分に分けて、2015年度と2020年度を比較したものである。入学定員充足率が上昇したのは全国で15地域あるが、地方は13地域中12地域が上昇している。上昇した15地域の上位をみると東北10.74ポイント、東海9.56ポイント、北海道9.35ポイントと全て地方となっている。地方の充足率が上昇した結果、2015年度において充足率が100%以上の地域は5地域であったものが、2020年度では10地域まで増えている。

一方、三大都市圏に該当する地域では、京都を除く7地域で充足率100%以上を維持しているものの、8地域のうち5地域が下降している。特に、東京(▲8.82ポイント)、京都(▲7.48ポイント)、愛知(▲2.56ポイント)で下降幅が大きくなっている。

学部系統の動向

地方は、人文科学系、社会科学系が強い

図表6は、学部所在地が地方(三大都市圏以外)である学部について系統別に13区分し、2015年度と2020年度の入学定員充足率と入学者数の関係をまとめたものである(系統別の入学定員充足状況の詳細についてはP.15

図表6 地方大学・系統別の入学者増減と入学定員充足率の上昇下降の関係図(2020年度ー2015年度)〔学部所在地ごとに集計〕

区分	入学者	
	増加	減少
入学定員充足率	A 人文科学系 社会科学系 芸術系	B 理・工学系 その他
	C 医学 保健系 農学系 教育学 体育学 家政学	D 歯学 薬学

※ 入学定員充足率 = 各系統ごとの入学者合計 ÷ 各系統ごとの入学定員合計
 ※ 青字…入学定員充足率が、2015年度:100%未満→2020年度:100%以上
 ※ 赤字…入学定員充足率が、2015年度:100%以上→2020年度:100%未満
 ※ 赤字…入学定員充足率が2015・2020年度共に100%未満
 ※ 黒字…入学定員充足率が2015・2020年度共に100%以上

以降に参考として記載している)。

A: 充足率が上昇、入学者数も増加したグループ

人文科学、社会科学、芸術系の3系統が該当した。これら3区分の充足率は、100%未満から100%以上に改善している。人文科学、社会科学系は、一般企業や官公庁に就職する際に有用な知識を学ぶ学部が多いためと考えられる。芸術系は、充足率が低かったこともあるが、創作活動等を通じて培った創造力、表現力、クリエイティブな思考力等が、卒業後において社会で活かされる場が多くなったことで受験生を中心に魅力が高まり、入学者数の増加につながったと考えられる。

B: 充足率は上昇したが入学者数が減少したグループ

理・工学系、その他の2系統が該当した。両系統とも学部数の減少により入学定員が減少したが、入学者の減少数が入学定員の減少数より少なかったため、充足率は上昇している。

C: 充足率は下降したが入学者数は増加したグループ

医学、保健系、農学系、教育学、体育学、家政学の6系統が該当した。これらの系統の多くは資格取得が可能な学部が多く、入学者を安定的に確保する要因となっていることから学部数が増えたことに伴い入学定員も増えているが、入学定員の増加分まで入

学者数が増えなかったため充足率は下降している。特に保健系、農学系、体育学、家政学の4系統は5ポイント以上下降し、家政学にあっては充足率100%以上であったものが100%未満となっている。

D: 充足率が下降、入学者数も減少したグループ

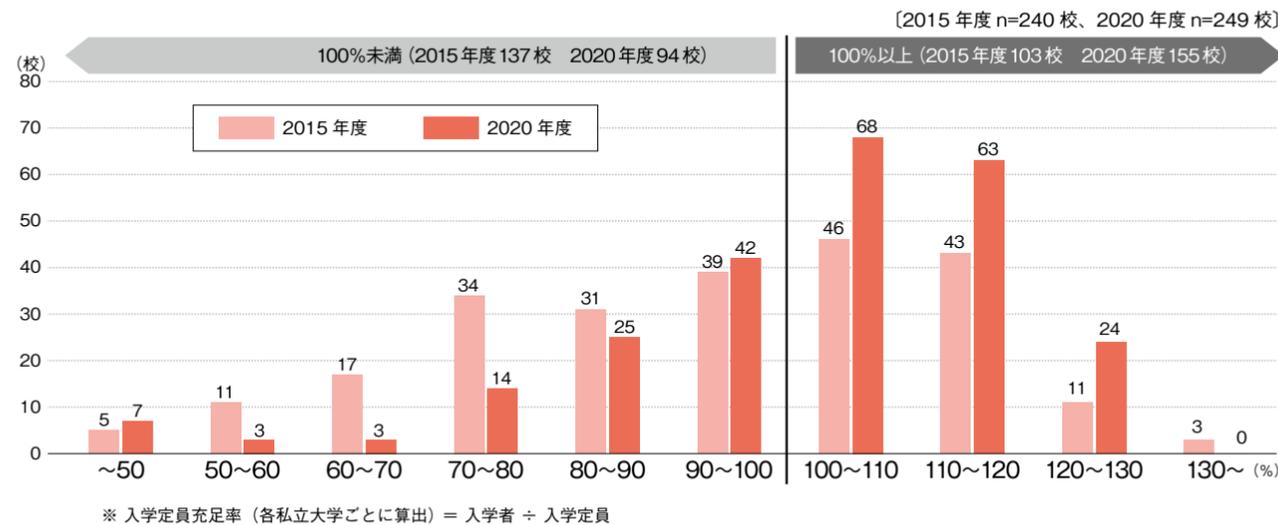
歯学、薬学の2系統が該当した。両系統とも充足率は100%未満であり入学者数の減少幅も大きく学生確保が厳しい状況がうかがえる。両系統ともに修業年限が6年間で授業料等の経済的負担が大きいこと、国家試験合格率が平均合格率を下回る学校が少なくないこと等が厳しい状況の要因と考えられる。

個別地方大学の動向

充足率100%以上の学校が増加

図表7は、2015年度と2020年度の地方私立大学別の入学定員充足率の分布状況である。100%以上の学校は103校(42.9%)から155校(62.2%)に増加している。また、2015年度では、50%以上100%未満の学校が各区分10から40校程度あるのに対し、2020年度では、「60%以上70%未満」「70%以上80%未満」の2区分で学校数が大きく減少し、90%以上130%未満の区分で学校数が増加している。このことにより、個別大学においても入学定員充足状況が改善していることが分かる。

図表7 地方の入学定員充足率別学校数 (2015年度・2020年度) [地方: 学校所在地による]

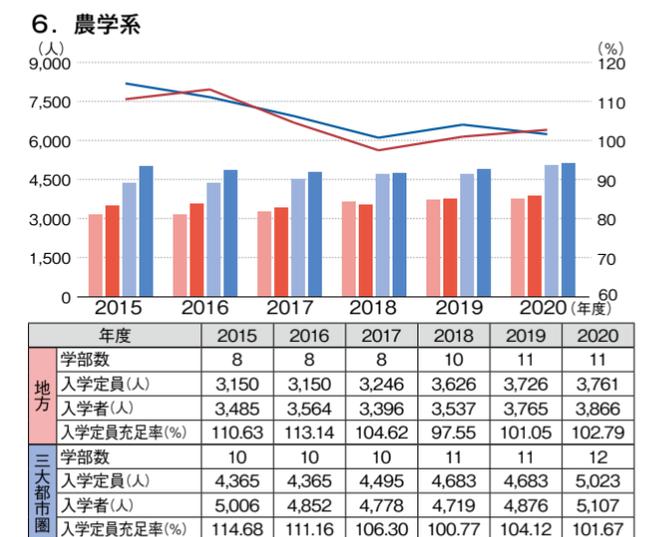
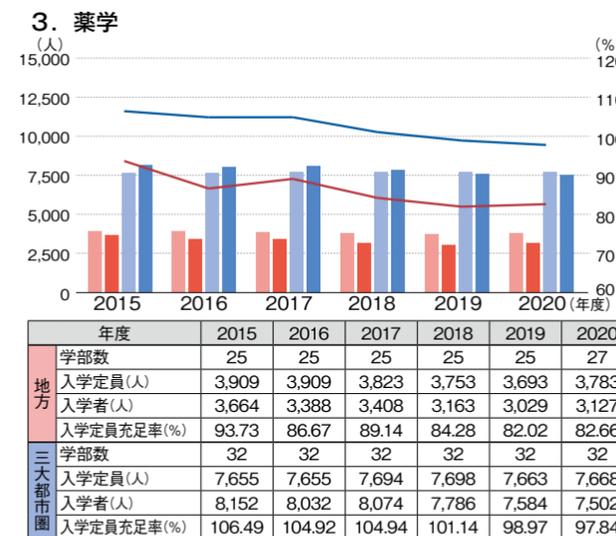
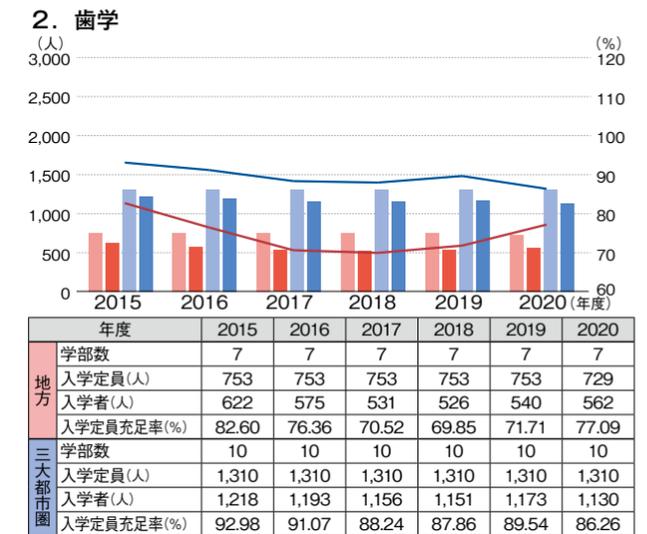
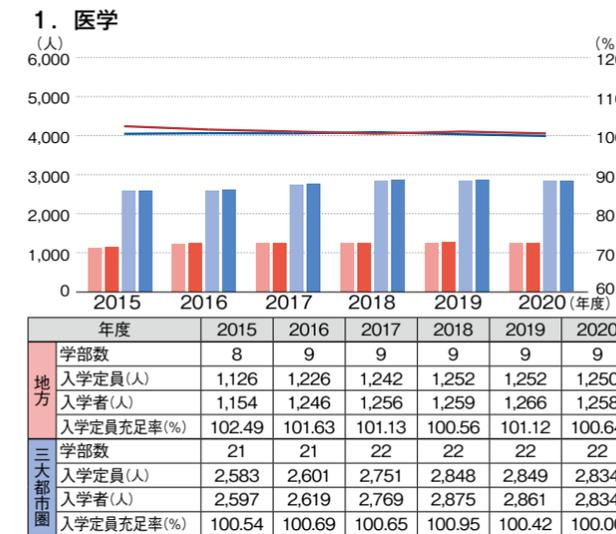


まとめ

さらなる教育改革等を行い、地域に必要とされ魅力ある大学づくりを!

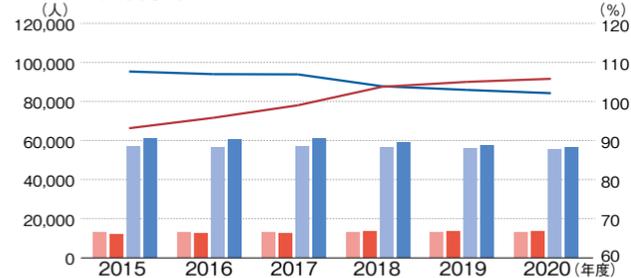
以上のように定員管理の厳格化の導入開始前後の入学定員充足状況について分析をしてきたが、各私立大学は、地域における知識技術の創造拠点として「建学の精神」に基づき、多様性に富み独創的な教育研究を行うとともに大学教育研究の充実を常に図っており、このことが受験生や地元企業等からの評価を高め入学者数の増加につながっていることを忘れてはならない。18歳人口は2021年度から再び減少期に入り、10年後の2030年度においては全国平均で約10%減少する見込みであるが、地方の平均減少割合は約13%で全国平均より高く、特に東北、関東、北陸、甲信越の4地域では15%を超えている。今後、進学率の急激な上昇がなければ18歳人口が減少することで入学者数も減少するので、地方の私立大学にあっては、入学者の確保についてさらに厳しい環境になることが予想される。地方では経済的に負担の少ない地元の大学を選ぶ傾向があり、地元志向が強いと考えられているが、今後は、地元出身者のみならず他県からの入学者を確保することも重要になってくる。このため各大学においてはさらなる教育改革等を行い、地域に必要とされる魅力ある大学づくりをさらに進めていくことが必要と考える。

参考 系統別の入学定員充足状況 (6カ年推移) [学部所在地ごとに集計]



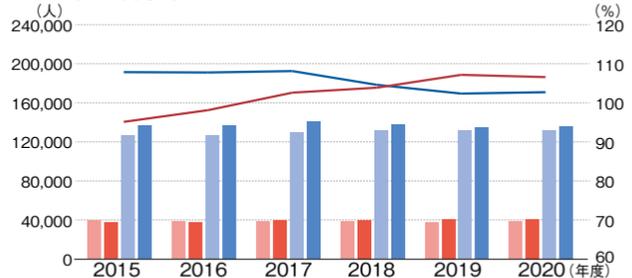
地方 入学定員 地方 入学者 地方 入学定員充足率
 三大都市圏 入学定員 三大都市圏 入学者 三大都市圏 入学定員充足率

7. 人文科学系



年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	70	71	71	73	72	74
地方 入学定員(人)	12,887	12,942	12,762	12,887	12,667	12,732
地方 入学者(人)	12,013	12,411	12,646	13,381	13,310	13,480
地方 入学定員充足率(%)	93.22	95.90	99.09	103.83	105.08	105.87
三大都市圏 学部数	167	169	169	171	171	171
三大都市圏 入学定員(人)	56,720	56,677	57,159	56,651	55,827	55,372
三大都市圏 入学者(人)	61,108	60,681	61,160	58,894	57,516	56,587
三大都市圏 入学定員充足率(%)	107.74	107.06	107.00	103.96	103.03	102.19

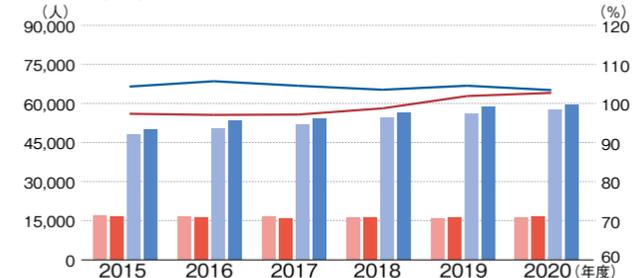
8. 社会科学系



年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	171	171	170	168	169	171
地方 入学定員(人)	38,922	38,070	38,445	38,056	37,846	38,193
地方 入学者(人)	37,049	37,382	39,473	39,556	40,584	40,732
地方 入学定員充足率(%)	95.19	98.19	102.67	103.94	107.23	106.65
三大都市圏 学部数	338	339	345	345	346	349
三大都市圏 入学定員(人)	126,322	126,943	129,580	131,226	131,228	131,989
三大都市圏 入学者(人)	136,324	136,880	140,191	137,358	134,420	135,670
三大都市圏 入学定員充足率(%)	107.92	107.83	108.19	104.67	102.43	102.79

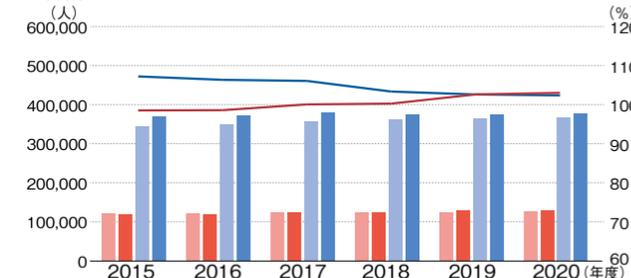
地方 入学定員 地方 入学者 地方 入学定員充足率
 三大都市圏 入学定員 三大都市圏 入学者 三大都市圏 入学定員充足率

13. その他



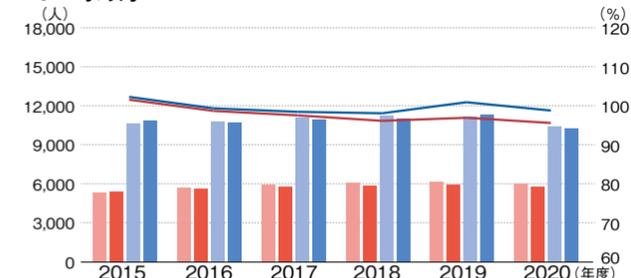
年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	81	81	80	80	79	80
地方 入学定員(人)	17,040	16,690	16,342	16,165	15,665	15,955
地方 入学者(人)	16,602	16,212	15,890	15,974	15,974	16,399
地方 入学定員充足率(%)	97.43	97.14	97.23	98.82	101.97	102.78
三大都市圏 学部数	174	183	193	201	209	217
三大都市圏 入学定員(人)	47,884	50,348	51,651	54,569	55,987	57,485
三大都市圏 入学者(人)	49,986	53,246	54,027	56,525	58,570	59,491
三大都市圏 入学定員充足率(%)	104.39	105.76	104.60	103.58	104.61	103.49

合計



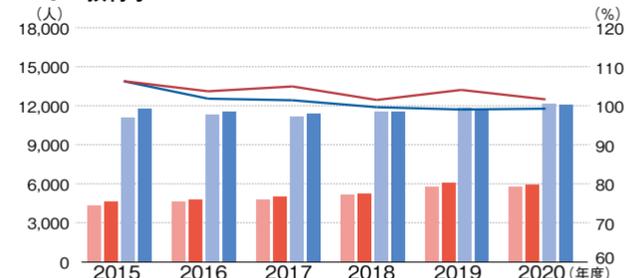
年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	591	598	606	618	637	644
地方 入学定員(人)	119,987	119,668	121,883	123,114	123,652	124,303
地方 入学者(人)	118,292	118,048	122,042	123,526	126,967	128,135
地方 入学定員充足率(%)	98.59	98.65	100.13	100.33	102.68	103.08
三大都市圏 学部数	1,097	1,114	1,137	1,158	1,177	1,205
三大都市圏 入学定員(人)	343,710	347,826	355,779	361,872	363,413	366,709
三大都市圏 入学者(人)	368,772	370,162	377,635	374,252	373,118	375,695
三大都市圏 入学定員充足率(%)	107.29	106.42	106.14	103.42	102.67	102.45

9. 家政学



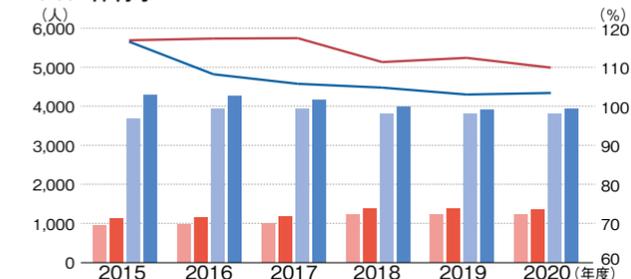
年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	35	36	37	38	40	39
地方 入学定員(人)	5,313	5,663	5,923	6,048	6,088	6,003
地方 入学者(人)	5,399	5,592	5,781	5,818	5,905	5,742
地方 入学定員充足率(%)	101.62	98.75	97.60	96.20	96.99	95.65
三大都市圏 学部数	38	39	40	43	44	45
三大都市圏 入学定員(人)	10,598	10,723	11,038	11,206	11,145	10,370
三大都市圏 入学者(人)	10,846	10,660	10,874	10,998	11,253	10,250
三大都市圏 入学定員充足率(%)	102.34	99.41	98.51	98.14	100.97	98.84

10. 教育学



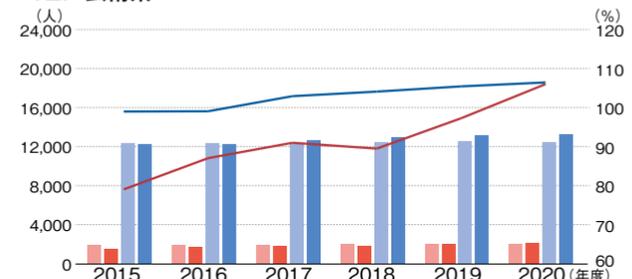
年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	28	30	32	34	39	39
地方 入学定員(人)	4,320	4,588	4,728	5,158	5,773	5,765
地方 入学者(人)	4,595	4,761	4,965	5,238	6,011	5,863
地方 入学定員充足率(%)	106.37	103.77	105.01	101.55	104.12	101.70
三大都市圏 学部数	58	59	59	60	62	64
三大都市圏 入学定員(人)	11,058	11,303	11,165	11,520	11,830	12,090
三大都市圏 入学者(人)	11,759	11,515	11,329	11,484	11,724	12,008
三大都市圏 入学定員充足率(%)	106.34	101.88	101.47	99.69	99.10	99.32

11. 体育学



年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	3	3	3	4	4	4
地方 入学定員(人)	960	970	1,010	1,238	1,235	1,235
地方 入学者(人)	1,123	1,139	1,187	1,379	1,389	1,358
地方 入学定員充足率(%)	116.98	117.42	117.52	111.39	112.47	109.96
三大都市圏 学部数	7	7	7	7	7	7
三大都市圏 入学定員(人)	3,682	3,937	3,932	3,805	3,805	3,805
三大都市圏 入学者(人)	4,294	4,262	4,161	3,989	3,922	3,937
三大都市圏 入学定員充足率(%)	116.62	108.26	105.82	104.84	103.07	103.47

12. 芸術系



年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
地方 学部数	17	18	18	18	19	19
地方 入学定員(人)	1,891	1,901	1,911	1,944	1,994	1,974
地方 入学者(人)	1,496	1,656	1,740	1,741	1,941	2,094
地方 入学定員充足率(%)	79.11	87.11	91.05	89.56	97.34	106.08
三大都市圏 学部数	41	40	38	38	39	39
三大都市圏 入学定員(人)	12,318	12,332	12,273	12,366	12,453	12,358
三大都市圏 入学者(人)	12,202	12,223	12,640	12,880	13,138	13,163
三大都市圏 入学定員充足率(%)	99.06	99.12	102.99	104.16	105.50	106.51

系統別区分

医学	医
歯学	歯 / 生命歯 / 口腔歯
薬学	薬
保健系	保健 / 看護 / 栄養 / 鍼灸 / 保健衛生 / 医療技術 / 看護福祉 / 保健福祉 / 医療衛生 / 保健科 / 産業保健 / 保健医療 / 医療福祉 / リハビリテーション / 医療 / 健康メディカル / 健康医療科 / 看護栄養 / 保健看護 / 医療健康科 / 医療看護 / 医療健康 / 看護医療 / 医療科 / 看護リハビリテーション / ヒューマンケア / 医療保健 / 総合リハビリテーション / 医療福祉マネジメント / 保健医療技術 / 保健医療福祉 / 地域医療 / 健康福祉学群 / リハビリテーション科 / 医療情報 / 看護保健 / 健康医療 / 健康医療スポーツ / 国際看護 / リハビリテーション (専門職)
理・工学系	理工 / 理 / 工 / 生産工 / 芸術工 / 基礎工 / 情報科 / 医用工 / デザイン工 / 生物理工 / 環境 / 生命科 / 情報工 / 産業科学技術 / 科学技術 / フロンティアサイエンス / 環境都市工 / 技能工芸 / 産業理工 / 化学生命工 / 創造理工 / 創造工 / 知識工 / 情報環境 / 応用生命科 / 総合生命科 / ソフトウェア情報 / 医療福祉工 / 応用バイオ科 / バイオサイエンス / バイオ・化 / コンピュータサイエンス / 建築 / 情報通信工 / 情報通信 / 生物生命 / 未来科 / 生物 / 基礎工 / システムデザイン工 / ロボティクス&デザイン工 / 建築都市工 / 基幹工 / 航空工 / データサイエンス / 航空・マネジメント学群 / 情報経営イノベーション (専門職) / 先端理工 / 工科 (専門職)
農学系	農 / 獣医 / 海洋 / 生物産業 / 生物資源科 / 生命環境 / 海洋生命科 / 獣医学群 / 農食環境学群 / 動物看護 / 食料産業
人文科学系	文 / 文芸 / 神 / 仏教 / 外国語 / 人文 / 国際言語文化 / 比較文化 / 国際文化 / 現代文化 / 人間 / 文化 / 人間関係 / 人文科 / 心理 / 国際人間 / 神道文化 / こども心理 / 心理科 / 人文学群 / 国際人文 / 国際英語 / 国際・英語 / 文化言語 / 表象文化 / 現代心理 / 心身科 / 言語コミュニケーション / 異文化コミュニケーション / グローバル教養 / 文化情報 / 子ども未来 / 心理こども / 歴史 / グローバル・コミュニケーション学部 (群) / 英語キャリア / 臨床心理 / 子ども発達 / グローバル地域文化 / 英語国際 / 総合心理 / 文化社会 / 教育人文 / 教育・心理
社会科学系	社会 / 社会科 / 産業社会 / 社会福祉 / 法 / 法経 / 政経 / 政治経済 / 経済 / 経営 / 商 / 商経 / 経営情報 / 情報 / 国際政治経済 / 経済情報 / 総合政策 / 人間社会 / 環境情報 / 社会情報 / 流通科 / コミュニケーション / 現代社会 / 流通情報 / 流通 / 人間福祉 / 経済科 / 国際経営 / 環境社会 / 経営法 / 現代法 / 社会環境 / 現代日本社会 / 現代福祉 / 福祉社会 / 生涯福祉 / 観光 / 21世紀アジア / 人間健康福祉 / コミュニティ福祉 / 企業情報 / 現代経営 / コミュニティ政策 / 総合経営 / マネジメント / シティライフ / 総合福祉 / ビジネス情報 / 総合社会 / 国際社会 / 政策 / マネジメント創造 / 金融経済 / 都市生活 / サービス経営 / 福祉 / 総合マネジメント / 国際観光 / 情報マネジメント / 現代コミュニケーション / 公益 / 経済経営 / 経営経済 / 現代マネジメント / 福祉環境 / 観光ビジネス / アジア太平洋 / 知的財産 / 産業情報 / 社会システム科 / 現代ビジネス / 地域政策 / ネットワーク情報 / 福祉情報 / 社会イノベーション / 環境ツーリズム / 政策情報 / 環境創造 / 福祉総合 / ビジネスマネジメント学群 / ビジネス / ビジネス創造 / 工芸 / 情報社会 / 国際社会 / 観光ビジネス / 地球社会共生 / 観光コミュニティ / 地域創造 / 都市創造 / 国際社会科 / 観光経営 / 地域創生 / 情報連携 / 地域経営 / 公共 / 国際コミュニティ / 地域共創 / メディアビジネス / 環境デザイン / 社会共生 / 社会情報デザイン / 事業創造 (専門職) / 情報 (専門職) / 経法商
家政学	家政 / 生活科 / 人間生活 / 生活環境 / 食文化 / 健康プロデュース / 栄養科 / 人間健康 / 服装 / 健康生活 / 食物栄養 / 食物栄養科 / 健康管理 / 管理栄養 / 現代生活 / 現代家政 / 服飾 / 健康栄養学部 (群) / 人間生活科 / 人間栄養 / 家政学群 / 生活創造 / 食環境科 / 医療栄養 / 国際ファッション (専門職)
教育学	教育 / 児童 / 人間教育 / 人間発達 / 児童保育 / 保育 / 子ども / こども / 発達科 / 子ども (こども) 教育 / 発達教育 / 子ども生活 / 国際こども教育 / 子ども育成 / 人間開発 / 健康・スポーツ科 / 次世代教育 / 臨床教育 / 現代教育 / 学校教師 / スポーツ健康政策 / 児童スポーツ教育 / 教育文化 / 保育児童 / 児童教育 / 心理・教育学群
体育学	体育 / スポーツプロモーション
芸術系	芸術 / 美術 / 造形 / 音楽 / 造形芸術 / デザイン / 映画 / ポピュラーカルチャー / アニメーション文化 / メディア芸術 / 造形情報
その他	応用生物科 / 国際食料情報 / 地域環境科 / 地球環境科 / 人間文化 / 国際地域 / 国際交流 / 現代中国 / 国際コミュニケーション / 健康科 / 教養 / 文芸 / 学芸 / 人間科 / 国際関係 / 国際 / 不動産 / スポーツ健康科 / 情報文化 / 文化情報 / 総合情報 / 政策科 / 都市情報 / 国際情報 / 総合文化 / ホスピタリティ・ツーリズム / コミュニティ振興 / メディア造形 / 基幹理工 / 現代ライフ / 国際文化交流 / 表現 / 生命工 / 生命医科 / 生命・環境科 / システム理工 / 先進理工 / 環境園芸 / スポーツ科 / 総合人間科 / 知能情報 / 教育福祉 / 英語情報マネジメント / 人間環境 / 人間社会 / 政策 / マネジメント / 人間環境 / 人間文化 / コミュニケーション / 経営教育 / メディア / 美術文化 / キャリアデザイン / メディア情報 / 政策創造 / 情報メディア / 現代人間 / 情報コミュニケーション / 経営文化 / 文化創造 / 文化表現 / 保健医療経営 / 医療経営管理 / 芸術情報 / 交流文化 / 国際福祉開発 / 現代教養 / 人間情報 / 環境・建築 / 社会安全 / キャリア形成 / メディアプロデュース / 国際日本 / 教育人間科 / スポーツ / 応用心理 / 国際教養 / 心理・福祉 / 生涯スポーツ / 医療経営 / 映像 / メディア・芸術 / 総合人間 / 人間総合 / 未来デザイン / 感性デザイン / マンガ / 健康福祉 / 危機管理 / リベラルアーツ学群 / 情報フロンティア / リベラルアーツ / グローバル・メディア・スタディーズ / グローバルスタディーズ / 福祉健康 / 現代政策 / 応用生物 / 現代国際 / 総合文化政策 / 生活福祉文化 / 情報理工 / 国際人間科 / 生命健康科 / バイオ環境 / サービス創造 / スポーツ健康 / ライフデザイン / スポーツ・健康科 / スポーツ人間 / 福祉貢献 / 環境情報ビジネス / 未来創造 / モチベーション行動科 / コミュニケーション文化 / 生物地球 / 生命 / 地域共創学群 / 総合数理 / 建築・環境 / 観光メディア文化 / 地域創成農 / 芸術文化学群 / 総合グローバル / 国際キャリア / 先進工 / 福祉心理 / 国際リベラルアーツ / 人間社会学群 / 心理社会 / グローバル / 人間共生 / 創造表現 / スポーツ文化 / 世界共生 / 心理・医療福祉マネジメント / 健康 / スポーツマネジメント / 人間総合学群 / 国際貢献 / 食マネジメント / 地域マネジメント / コミュニティ人間科 / 世界教養 / 建築都市デザイン / 健康スポーツ / 健康科 (専門職)

* 入学定員充足率 = 各系統ごとの入学者合計 ÷ 各系統ごとの入学定員合計